



分けて行なわれている。

パブリック・スクールでグレード八までいなくても、セカンダリー・スクールのグレード九に入学できるが、どこまで到達していたかによって、入学できるレベルが異なってくる。すなわち、生徒は、セカンダリー・スクールへの移行時に自分が到達していたグレードと、セカンダリー・スクール卒業後に自分が何をしようとしているかによって、自分に合ったレベルを選択する。そして、そのレベルの授業を行なっている学校を探して、志願することになる。提供している選択科目は学校によって異なるので、それも考慮に入れなければならない。志願は、メトロポリタン・トロント中どのの学校にも志願

することができ、選抜方法は、まず学区内の志願者を優先的に入学させ、さらに残りの定員があれば、学区外からの志願者に対し申し込み順に入学を許可するという方法である。セカンダリー・スクールは単位制になっいて、セカンダリー・スクール・グラジュエーション・ディプロマ（中等教育修了証書）を得るためには、グレード九から十二までに計

二十七単位をとらなければならない。この二十七単位は、どのレベルで取ったものであってもかまわないが、グレード九と十で英語二、数学二、理科一、カナダ史一、カナダ地理一、グレード十一と十二で英語二は必須である。

学科によって異なるレベルとグレードの授業を取ること可能であるし、途中でレベルを上下に変更することも可能である。下の方のレベルのものは、義務教育期間がすぎると学校を去り、就職してゆくものが多いが、グレード十二まで達して所定の単位数を修得したものは、先述のようにセカンダリー・スクール・グラジュエーション・ディプロマを与えられる。さらに、このうち、レベル五ないし六でこれを修了したものは、グレード十三に進級する資格をもつ。グレード十三で六単位を得るとオナー・グラジュエーション・ディプロマを与えられ、大学入学の資格が得られることになる。したがって大学へ入学するためには、レベル五以上のところにおいて単位を修得して行かなければならないことになる。

また、大学で学習するコースによって入学時に要求される単位科目が異なるから、セカンダリー・スクールでの選択科目の選択に際してはそれを考慮しておくかなければならない。なお、グレード十三が現在存在するのはオンタリオ州のみ。他の州ではグレード十二で大学に入学できる。こうして、セカンダリー・スクールの種類やそこの学習内容は、自分のそれ

最近海外への語学留学が盛んで、カナダ大使館へもこの種の留学についての問い合わせや相談が毎日のようにある。

カナダの場合、語学留学には大学が外国人や第二国語を勉強する人たちのために開いている語学講座と語学の専門学校に開いている語学講座と語学の講座と二通りが考えられる。大学の講座と比べても、終了後その大学の学部へ優先的に入れるわけではなく、あくまでも語学の勉強だけが目的である。どちらの場合も十六才または十八才以上であれば入学資格がある。期間はだいたい六週間コースから六か月コースで、授業時間もコースによって異なるが、留学生は週五日、一日五時間の集中講座に入るのが普通。クラスは、入学時に受けるテストの結果によって、初心者レベルから上級者向きまで分けられている。

カナダへの 語学留学

の訓練になると同時にカナダの生活習慣に触れるいい機会にもなるので、学校によってはホームステイを義務づけているところもある。この場合一日八ドルから十ドル位かかる。

そのほか留学中の万一の傷病に備えて、医療保険に入っておくのが賢明だ。外国人はカナダ政府の保険には入れないので、外国人が入れる保険について留学先の学校によく聞いておくこと。また留学生は労働許可がない限り働くことは認められないため、留学費用の一部をアルバイトで補うというのはほとんど不可能だ。

最後に、入学手続きについて一言。まず入学を希望する学校へ直接申込金を添えて申請書を送る。同時にカナダ大使館査証部へ留学許可の申請を始める。通常、申請して許可になるまで最低六週間かかる。学校から入学許可を受け取り次第、査証部へ提出し、許可証を発行してもらう。あとは出発を待つのみだ。コースの始まる少なくとも三か月前には準備を開始する必要がある。なお、学校の案内書と申込書は、数校ではあるがカナダ大使館に用意してあるので、ご希望の方は広報部宛に連絡頂きたい。

まであげてきた成績水準と、卒業後自分がどういう方向に進もうとしているかという希望によって、選択することになる。中等教育においては、初等教育と異なり、こうしてグレードに加えてレベルという概念を導入することによって、生徒の多様化に対応しようとしている。

なお、このほかに夏休みの七月から八月月上旬にかけサマースクールが開かれ、落とした単位をそこで修得しなおすことも可能であるし、また、必要な単位を余分に修得することによって、五年かけずに大学入学資格を得ることも可能である。

(岐阜教育大学助教授)